



平成 17 年 7 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 ゴ ト -
代表者名 代表取締役社長 後藤 行宏
(JASDAQ コード番号 9 8 1 7)
(問い合わせ先)
責任者役職名 常務取締役管理本部長
兼総合企画部長
氏 名 土 橋 文 彦
T E L 0 5 5 (9 2 3) 5 1 0 0

平成 18 年 2 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 2 月期(平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日)の業績予想につきまして、平成 17 年 4 月 26 日付の「平成 17 年 2 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

- 1 .平成 18 年 2 月期中間業績予想数値の修正(平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日)
(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回の業績予想 (A)	7,116	139	53
今回修正 (B)	7,337	378	73
増 減 額(B-A)	221	239	20
増 減 率 %	3.1 %	171.9%	37.7%
(ご参考) 前 期 実 績	8,052	206	212

- 2 .平成 18 年 2 月期業績予想数値の修正(平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日)
(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回の業績予想 (A)	15,579	519	204
今回修正 (B)	15,596	590	210
増 減 額(B-A)	17	71	6
増 減 率 %	0.1%	13.7%	2.9%
(ご参考) 前 期 実 績	16,153	431	308

3. 修正の理由

平成 18 年 2 月期の売上高に関しましては昨年紳士服販売店舗を営業譲渡したことにより中間期及び通期とも前年を下回る見通しであります。

当第 1 四半期におきましては、カルチャー事業では中古書籍販売及び DVD のレンタル売上が依然として好結果のうちに推移し、売上・粗利を伸ばしておりますが、ゲーム、DVD・CD セル等の物販部門が苦戦を強いられる状況にあります。

レンタル売上の好結果の要因といたしましては、昨年度より実施してまいりましたレンタル商材を DVD ヘフォーマット変更したことと、サウンドカタログ商品の投入が好結果に繋がったこと、携帯プレーヤーの需要拡大に伴う過去の名曲へのニーズの高まりに対応した拡大施策が好結果を生んでおります。中古書籍販売に関しましては、売場の商品鮮度を上げるために在庫商品の入れ替えと買取りの強化に重点を置いたことにより、安定した利益確保に繋がっております。

店舗につきましては、新規出店、また不振店舗のリストラを見込んでおりましたが、第 2 四半期以降、下期にずれ込む見込みとなりました。従いまして、当中間期の経常利益は大幅な増加が見込まれますが、当期純利益に関しましては中間期、通期ともほぼ予想どおりの業績を見込んでおります。

以上の結果、当中間期の売上高は 7,337 百万円（前回予想比 3.1%増）、経常利益は 378 百万円（前回予想比 171.9%増）、中間純利益は 73 百万円（前回予想比 37.7%増）と予想数値を修正いたします。また、通期業績につきましては、売上高 15,596 百万円（前回予想比 0.1%増）、経常利益 590 百万円（前回予想比 13.7%増）、当期純利益は 210 百万円（前回予想比 2.9%増）と業績予想数値を修正いたします。

なお、平成 18 年 2 月期の第 1 四半期の業績につきましては、本日別途「平成 18 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）」を開示いたしております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上